

令和2年度第1回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和2年5月26日(火) 開会 午後3時20分 閉会 午後5時03分		
2 場所	寒川第2庁舎203会議室		
3 出席者	市長		大山 茂樹
	教育委員会	教育長	安藤 正倫
		委員	徳田 二三男
			得丸 慶子
			廣瀬 強
			多田 俊
	西尾 由香		
	事務局	教育部長	中野 敏記
		教育総務課長	谷 訓昌
		学校教育課長	富田 克美
		学校教育課主幹	永坂 邦彦
		生涯学習課長	細川 史朗
		幼保こども園課長	多田 千稔
人権推進課長		山田 謙二	
教育総務課課長補佐		高西 恵	
教育総務課係長		佐藤 理絵(会議録調製者)	
その他説明等のため出席した者		なし	
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 令和2年度における教育関係施策について (2) その他		
5 特記事項	傍聴人 1名		
6 会議内容	開会		
教育部長	ただ今から、令和2年度第1回さぬき市総合教育会議を開会します。 なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項に基づき、総合教育会議は原則公開とされており、本日、傍聴人は1名であることを報告します。 開会に当たり、市長から御挨拶を申し上げます。		
市長	(挨拶)		
教育部長	続いて、教育長から御挨拶を申し上げます。		
教育長	(挨拶)		
協議・調整事項			

教育部長	それでは、協議・調整事項に入ります。さぬき市総合教育会議運営規程第3条の規定に基づき、協議・調整事項について、ここからの議事進行は、市長にお願いします。
市長	それでは、議題に入ります。 資料の概要説明をお願いします。
事務局	(資料1「令和2年度の主要施策について」を説明した。)
市長	今年度の各課の主要施策について説明がありました。 御質問や御意見がありましたら、順次お聴かせください。
教育委員	長尾小学校改築事業の予算ですが、ここに記載されている事業費は、実施設計等を含めた予算ですか。それとも、今年度に限った事業費ですか。
教育総務課長	今年度に予定している耐力度調査、地質調査及び基本設計までの今年度予算の金額です。
教育委員	今年度分だけですか。では、事業総額はどれくらいになるのですか。
教育総務課長	既存校舎等の解体工事も含めて、概算で約3億1千万前後と見込んでいます。
市長	改築とは言いつつも、新築する場合と金額的にはほとんど変わらない状況です。
教育委員	この計画では、長尾中学校については、また別の話になるのですか。
教育総務課長	長尾中学校については、別になります。
市長	長尾中学校について、今後の予定がありましたら補足説明をお願いします。
教育総務課長	今年度、長尾中学校については、前年度からの繰越事業として校舎外壁改修工事を実施する予定です。校舎の改築等については、今後の課題となっています。
市長	平成29年度に取りまとめた平成30年度から向こう10年間の財政収支見込みの中に、長尾中学校の改築工事は入っていましたか。
教育総務課長	財政収支見込みの中には、部分的な事業が予定事業として含まれています。
市長	分かりました。 では次の委員、お願いします。
教育委員	私は、幼保こども園課の事業について、質問します。 まず、民間幼稚園運営事業の対象幼稚園が何園かということと、その予算の使われ方がどのようにになっているのかということをお教えください。 それから、民間幼稚園の先生と公立幼稚園の先生の積極的な交流や合同研修等を是非実施してほしいです。さぬき市の子どもたちにとってのより良い幼児教育の充実という意味で、両者は協力するべきではないかと思えます。
幼保こども園課長	御質問のあった、民間幼稚園運営事業については、市内の私立幼稚園である長尾聖母幼稚園が該当しています。民間幼稚園運営事業の予算は、該当幼稚園の施設型給付費が主なものです。昨年9月末までは、幼稚園就園奨励費として、各家庭の経済的負担等を軽減するために授業料等の一部を補助する制度がありましたが、その制度が幼児教育・保育無償化事業の開始で廃止されたため、今は全て施設型給付費という形で対象幼稚園に支給しています。また、ごく少数ではありますが、さぬき市在住ではあるけれども市外の私立幼稚園に通

	<p>う子どもたちについては、預かり保育等の施設利用費を支給しています。</p> <p>それから、御意見をいただいた私立幼稚園と公立幼稚園の先生方の交流については、これまではあまり交流がありませんでしたが、昨年10月から幼児教育・保育無償化の新制度に移行したことにより、市も私立幼稚園と関係する機会が増えてきましたので、合同研修等も今後検討していきたいと考えています。</p>
市長	長尾聖母幼稚園は、どれくらいの人数の園児が通園しているのですか。
幼保こども園課長	現在、25名の園児が通っています。
市長	25名全員がさぬき市内在住ですか。
幼保こども園課長	高松市や三木町から通っている園児もいます。
市長	分かりました。 では次の委員、御発言をお願いします。
教育委員	長尾小学校改築事業に関連して、長尾幼稚園についてはどうなっていますか。特に最近、小学校と幼稚園の連携というのが非常に重要視されてきていますので、幼稚園を同一敷地内に移転するといった案は出てきていないのでしょうか。
教育総務課長	幼稚園については、現時点で建替え等の予定はありませんが、子ども・子育て支援新制度がスタートし、幼児期の幼児教育・保育を全体にわたって推進していくためにも、民間の施設も含めた総合的な幼稚園・保育所の在り方について、より検討が必要であると認識しています。
教育委員	特に幼稚園や小学校というのは、地域に根ざした教育が進められるべきだと考えています。そのような中で、幼稚園と小学校の物理的距離が離れていると、少し交流がしにくいという声も聴いています。そういったことも踏まえて、新しい長尾小学校と長尾幼稚園の関係というものも考慮しながら、改築事業計画を進めてほしいと思います。
市長	委員が以前に勤められていた小学校は、すぐ隣に幼稚園がありましたが、メリットはたくさんありましたか。
教育委員	はい。小学校と幼稚園が、フェンスだけで区切られており、鍵を掛けずに自由に入出りができるようになっていました。実際には、幼稚園の子どもたちが好きなときに小学校へ来て遊ぶというようなことはないのですが、やはり幼稚園が近くにあるということで、小学校の子どもたちの中で、自分たちはお兄さんやお姉さんなのだという気持ちが芽生えるきっかけの一つになっていたはずです。また、様々な学校行事を計画していくときにも、幼稚園の子どもたちのことも意識した教育活動が展開できると思います。
市長	<p>確かに、毎年恒例の餅つき大会のときには、幼稚園の子どもたちが見に来ていたと記憶しています。</p> <p>幼稚園と小学校を総合的に考えるような議論というのは、国の方では特に進んでいないのでしょうか。</p>

	<p>現在、さぬき市ではタブレット端末を約490台整備しており、市の予算で整備しなければならない台数までには、約550台不足しています。この550台については、今年度の一般財源で予算化していますので、それらを踏まえて、残りの3分の2に相当する台数が、この資料に記載している合計2,030台ということになります。</p>
市長	<p>市の予算でひとまず全てのパソコンを整備し、そのうち3分の2について、国の補助があるということですか。</p>
学校教育課長	<p>そうです。</p>
市長	<p>何年掛かるか分からなくて、道は険しいけれども、小中学校で一人一台端末が今後実現する予定であることは分かりました。</p> <p>この端末は、各家庭で使用することもできるのですか。</p>
学校教育課長	<p>できる限り各家庭のパソコンを利用してほしいというのが本音ですが、家庭にパソコン等がない場合は、アクセス制限やセキュリティ対策に留意したうえで、学校で整備したものを貸し出すようになると思います。</p> <p>また、各家庭にあるスマートフォンの利用も検討しなければいけません、スマートフォンであれば少し画面が小さくて不具合が生じることも考えられるので、テレビにつなげられるケーブルを準備することなども検討する必要があると考えています。</p>
市長	<p>分かりました。</p> <p>では、次の委員をお願いします。</p>
教育委員	<p>私からは、3点あります。</p> <p>1点目は、長尾小学校改築事業についてです。この改築事業計画の中では、造田小学校との統合について、考慮されているのでしょうか。</p> <p>2点目は、志度公民館と長尾公民館の整備事業についてです。両公民館は、災害時の避難所としても利用される予定なのではないでしょうか。新型コロナウイルス感染症が拡大している影響で、災害時の避難所についても様々な対策が取られるべきだという要望が大きくなっていますが、そういったことも念頭に置いているのかを確認したいです。</p> <p>3点目は、現在、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況にある中、子どもたちには、新型コロナウイルス感染症等についての正しい知識を身に付けてほしいと思います。咳払いをしたり、マスクを着けていなかったりするだけで、白い目で見るのは間違っているはずですが。今回の新型コロナウイルス感染症に関連して起こっている偏見、差別、いじめ等をなくすためにも、今一度、人権教育の徹底をお願いしたいです。</p>
市長	<p>長尾小学校と造田小学校の統合について、補足説明はありますか。</p>
教育総務課長	<p>長尾小学校改築事業については、現時点では、造田小学校との統合を前提とした事業計画にはなっていません。</p> <p>これまでに造田地区の地域や保護者の方の意見を聴く機会もありましたが、早急に統合を希望するといった声が非常に少なかったこともあり、これまでのさぬき市内での学校統廃合の実績を踏まえ、児童数が約100人から130人</p>

	<p>程度になった時点で、統合について改めて検討する方針としています。</p> <p>ただ、少子化の流れで、今後はどの学校も児童・生徒数が減少することが予想されますので、今回改築を行う長尾小学校についても、将来的に造田小学校の受入れも可能な規模でハード面は整備することとし、統合の議論については、地域の皆さんの意見も十分に聴きながら進めていきたいと考えています。</p>
市長	<p>分かりました。</p> <p>公民館についても、補足説明はありますか。</p>
生涯学習課長	<p>新たに整備する志度公民館も長尾公民館も、避難所機能を有する施設として位置付けています。</p>
市長	<p>新型コロナウイルス感染症等に関わる各種人権問題については、私も同じ思いです。</p>
人権推進課長	<p>新型コロナウイルス感染症に関連して、不当な差別や偏見はあってはならないことです。子どもたちへの啓発活動も、今後、学校教育課と連携しながら進めていきたいと考えています。</p>
市長	<p>新型コロナウイルス感染症については、不確かな情報に惑わされ、人権侵害につながってしまうような言動等が、子どもに限らず大人の中でも見受けられます。そういったことを、身近な人権教育として捉えて考えていく必要があると私も感じています。</p> <p>長尾小学校改築事業については、もし将来的に造田小学校と統合した場合でも対応し得る学校として、一定規模は確保した上で改築を進めていくべきだと考えています。学校は大人のものではなく、そこで学ぶ子どもたちのための施設ですから、そこに充実した環境を整備することは大人の責任だと思います。</p> <p>最後に、公民館整備事業についてですが、整備する両公民館ともに、当然避難所機能を有する施設としては考えていますが、個人的には、これからの避難所というのは、これまでのような集合型の避難所ではうまく機能していかないと感じています。体育館に300人も収容できるような避難所というのは、たぶん10年後には役に立たないのではないのでしょうか。避難者の中でも、疾患を抱えている方がいたり、妊婦の方だったり、それぞれに状況が異なります。そういった個別の選択肢に対応できる避難所づくりにつながるような公民館整備ができればと考えています。しかし、皆さんの個別状況を完全にカバーできるような体制というのは、非常に難しいところがあるため、いざというときには自分の命は自分で守る自助という考えを、市民の皆さんにはより一層意識していただくと有り難いです。</p> <p>各委員からいただいた御意見は、次の議題にも関連することが多いので、ここからは次の議題に移ります。議題2その他ということで、新型コロナウイルス感染症等の流行に伴う教育への影響について、まず事務局から資料説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料2「新型コロナウイルス感染症対策の経緯(教育委員会関係)」を説明した。)</p>
市長	<p>まだ正式決定ではないかもしれませんが、今後は、夏休みも短縮の予定です</p>

	か。
学校教育課長	はい、そうです。まず、8月の授業日を前期・後期に分け、前期は8月7日まで登校することと計画しています。後期の授業日は、8月19日から開始予定です。そうすることで、今回休校となった影響により授業が行えていない日数をほぼ補えるのではないかと考えています。
市長	分かりました。 では、今大きな話題にもなっている9月入学の導入については、皆さんどうお考えですか。個人的な意見で構いませんので、お聴かせください。
教育委員	私は、反対です。今回の新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、3月から5月まで一斉休校という措置が取られた関係で、この期間の学習保障の部分だけが注目されて、9月入学が議論されるようになったのだと思います。 この議論というのは、新型コロナウイルス感染症が流行する以前から様々な場で議論されてきました。その中で、やはり同意が得られない部分がたくさんあったから、9月入学は導入されてこなかったという経緯のはずです。 だからこそ、きちんと整理をしながら皆さんが納得する形で議論を進めていかないと、教育に関わる大きな制度変更になるため、今回の新型コロナウイルス感染症に起因する教育現場の混乱を利用して制度変更をするというのは、少し違うのではないのでしょうか。
市長	私も、9月入学の全てを否定するというわけではありませんが、今回の休校措置の穴埋めだけで9月入学の議論を持ち出すというのは、非常におかしいと感じています。 他の委員はどうですか。
教育委員	保護者の立場からすると、子どもが小学生や中学生のうちであれば、9月入学に変更されたとしても、変わったという実感はあまり湧かないと思います。留学を検討する大学生等であれば、9月入学のメリットというのは確かにあるのかもしれませんが、日本の企業に就職するのであれば、4月入社がほとんどですから。日本に合わせるのか、海外に合わせるのかという議論は、なかなか難しいのではないかと思います。
教育委員	私も、皆さんと同じで、今導入すべきではないと思います。 9月入学については、いずれは検討される時期が来るとは思いますが、しかし、今のタイミングでの導入には反対です。
教育委員	私も、今回持ち上がった9月入学の議論は、とんでもない気がしています。 確かに、長期間の休校措置等により、たくさんの学校行事が減り、今年は様々な教育機会が失われています。その失われた機会をどうにかして保障してあげないといけません。ただ、それを保障するために9月入学を導入するというのは、少し短絡的過ぎます。もう少しいろいろな保障の方法を考えていくべきです。
市長	なかなか難しい問題です。
教育委員	私も、4月入学と9月入学のメリット・デメリットを比較検討して、9月入学のメリットが大きいというのであれば、9月入学を導入すれば良いと思いま

	<p>す。</p> <p>ただ、小中高校生で考えると、9月入学のメリットはほとんどありません。留学等を希望する大学生であれば、メリットはあると思いますが、それならそれで、大学についてのみ9月入学について検討すればいいのではないのでしょうか。</p>
市長	<p>教育長は、どうお考えですか。</p>
教育長	<p>いろいろな考え方があると思いますが、日本の様々な仕組みが、年度で制度設計されていることが多いので、そういったことが全て変わっていかなければ、これは非常に難しい問題でないかと思えます。</p>
市長	<p>皆さんの御意見がお聴きできて良かったです。</p> <p>追加でお尋ねするのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、高校野球も今どんどん中止になっていますが、この状況はどうでしょうか。</p>
教育委員	<p>ほとんどの子どもたちは、プロを目指さずに高校3年生で終わることが多いです。だから、野球に限らず、どの部活動も夏の大会がこれまでの集大成になるはずなので、やはり何らかの形での大会や最後の発表の場が、県レベルでも開催されればいいなと思えます。他県では、早々に県大会中止を決定しているところもあるようなので、他も追随するのではないかと少し心配しています。</p>
教育委員	<p>当初、夏の甲子園は無観客で開催するという話もありましたが、結局は中止になりました。マスク・消毒の徹底や三密の回避等で、開催できたのではないかなという気が個人的にはしますが、高校総体も中止になりましたから、その兼ね合いもあるのでしょう。野球はOKだけでも、その他のスポーツはだめだというのでは、整合性が取れないと思えます。</p>
市長	<p>夏の高校野球大会が中止となったことも、ほんの一例です。今回の新型コロナウイルス感染症の流行で、本当に多方面に影響が及んでおり、皆さん様々なことをお感じだと思います。直接的なことももちろんもあると思いますが、本日は総合教育会議ですので、例えばいじめの問題、不登校の問題、進学の問題、学校の在り方など、今回の新型コロナウイルス感染症の流行を一つのきっかけにして、今後の教育について皆さんが考えていることがあれば、最後には是非お聴かせください。</p>
教育委員	<p>新型コロナウイルス感染症の終息後にどうするかということが大切だと思います。学校や社会において、新しい生活様式を守って生活していくこととなりますが、そのことで心の距離まで離れてしまい、これまで築いてきたコミュニティや仲間意識が崩れることのないよう十分配慮しなければいけません。</p>
教育委員	<p>今回のことで、確かにデメリットはものすごくありました。学校に通えない毎日で、子どもたちがとてもイライラしていたことも事実です。</p> <p>ただ、今回実感したのは、子どもは本当に学校が好きだということです。早く学校に行きたい、なぜ学校に行けないのかと子どもに責められ、もちろんこの状況を説明しましたが、子どもからすれば、なかなか理解できるものではありません。そのような中で、子どもは学校が好きで、友達が好きで、学校に行きたいのだということを感じられたことは、非常にメリットでした。</p>

教育委員	私も、新型コロナウイルス感染症の影響について言えば、マイナスの面ばかりが際立って目立ちますが、医療の最前線で奮闘している医療従事者の方々に感謝の意を表するような活動が、自然発生的に広がっているということを見聞きし、非常に心が温かくなりました。新型コロナウイルス感染症は終息すればそれで終わりというのではなくて、今回の一件で、人と人のつながりを再認識し、将来この出来事を振り返ったときに、胸を張ってこうしたと言えるように、引き続き新型コロナウイルス感染症等に立ち向かう必要があると思います。
教育委員	今回の一斉休校により、オンライン授業や学習プリント等を利用して各家庭で勉強する形が進みました。別に学校行かなくても家で勉強できるのではないかという意見も出てきています。けれども、学校へは勉強をしに行くというだけではなくて、学校は、子どもたちが様々な経験を積み重ねて成長していく場でもあります。だからこそ、結局のところ、学校は非常に大事なのです。 今回のことで、学校は一体何なのかというのを立ち止まって考える良いきっかけになったと思います。学校が再開する運びとなり、非常に嬉しく思いますし、今回抱いた気持ちを今後も大切にしていきたいです。先生や子どもや保護者にとって、安心して勉強や経験を積んでいけるような教育環境の充実に、より一層取り組んでいかなければならないと改めて痛感しました。
教育委員	私も、学校の良さを再認識したところです。 特に、今後の学校運営を考えると、臨時休校期間の長期化で失われた授業日数を、どのように確保するかという問題に取り組んでいかなければいけません。この問題を解決するために、どれが必要で、どれを削ることができるか、一番の核となるものは何かということを、各先生方は熟考するはずです。例えば、これまでたつぷりと時間をかけることができていた運動会の練習も、効率良く練習するためにどうすれば良いかということを考えるでしょう。 新型コロナウイルス感染症の流行で、学校教育そのものの在り方を見直す非常に良い機会になったことは、間違いありません。
市長	最後に、教育長お願いします。
教育長	私は、これから先のことを考えたいと思います。 それは、アフターコロナの中で、いかに学力回復期を充実していくかということです。頑張らないと追いつかないし、回復するのは難しいということ、教員だけではなくて、子どもたちにも意識させる必要があると感じています。今こそ、教師の指導力が試されていると思います。今年には新型コロナウイルス感染症の流行があつたけれども、子どもの学力低下にはつなげていないということを、教師の指導力で証明したいところです。
市長	皆さんの意見を聴いて思うことは、学校が再開し、大勢の子どもたちのうれしいという気持ちが本心であれば、これまで以上に授業に集中できるのではないかと思います。今までだったら1週間掛かって分からなかったことが、一生懸命集中することで、たった1日で分かるようになることもあるかもしれません。休校期間は非常に長かったですが、この期間中に気付いたことが皆さ

	<p>んたくさんあるはずで。それを、今後の授業で生かしていただければ幸いです。「災い転じて福となす」というように、これをきっかけにして、日本が良い方向に向かうことを願うばかりです。</p> <p>教育委員の皆さんには、大事な役目を担っていただいているので、今後とも御自身の健康にも十分気を付けて、引き続きさぬき市の子どもたちのために頑張ってくださいことをお願い申し上げます、終わりとしたと思います。</p>
<p>閉 会</p>	
<p>教育部長</p>	<p>以上をもちまして、令和2年度第1回さぬき市総合教育会議を閉会します。</p>